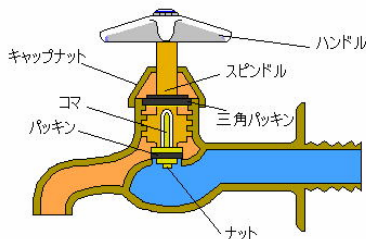


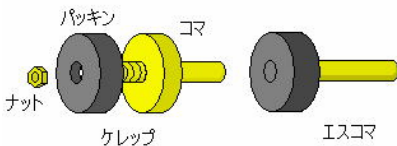


早いもので今年も1月が終わってしまいました。昔から1月、2月、3月はあっという間に去ってしまうと言いますが、命が芽吹く春に向けて心も体も英気を養っていききたいものですね。フエニクス・コンタクト株式会社のドイツ本社は毎年春にドイツで開催される国際見本市の時期に合わせて新製品を発表します。当社の社員は創造性が豊かで思わずワクワクするような新製品の登場を楽しみにしています。新情報が入り次第、ホームページ(<http://www.phoenixcontact.co.jp>)等でお客さまへご連絡の予定ですので、楽しみにお待ちしておりますようお願いいたします。

まずは水道の話です。



水道の蛇口の中のコマとパッキンが緩むと水がぽたぽたと落ちてきます。この場合、このコマとパッキンを交換すれば問題は解消します。パッキンはこのコマと蛇口内部を密着させ水が不用意に出るのを防ぎます。パッキンは非常に重要な役割を果たしています。

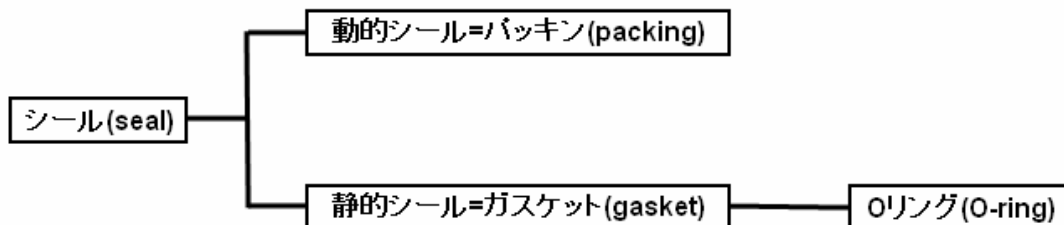


通常コマは黄銅、パッキンは、ほとんどの場合EPDM(エチレンプロピレンゴム)でできています。

ビンの蓋の裏側にも円周上にパッキンが貼られて、内容物が不用意に出るのを防いでいます。パッキンはこのように金属やガラスのような硬いもの同士の間を密閉し水や油などの液体を外部に漏らさないような機能を持っています。

パッキン、Oリング、シール、ガスケット???

水道のコマに使用する部品はパッキンといますが、密閉するものといった意味でシール(Seal)という言葉に統括されるようです。シールというと貼り付けるものといった印象が強いですが、産業界ではシールから機能によって用語が分かれているようです。以下に密閉する機能をもったものの分類を示します。



これらシールは、車のエンジンをはじめあらゆる産業分野で密閉構造を維持するために使用されています。

適材適所

さてこのように重要な役割を果たすシールにはどのような素材を使うのがベストでしょうか？特に電気に関連した分野での良く使われるシール材料を紹介します。

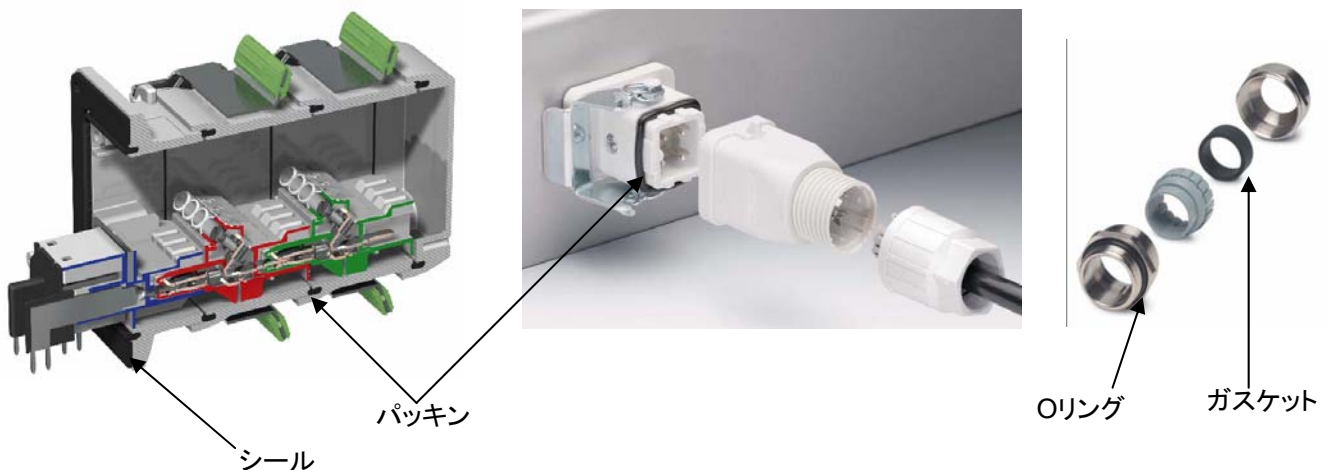
ニトリルゴム(NBR)・・・シールの材料として磨耗性、歪、引っ張りに優れるため良く使われます。また、耐油、耐薬品性にも優れます。ただし、耐候性には難があります。

エチレン・プロピレンゴム(EPM、EPDM)・・・耐候性に優れたゴムで、反発弾性にも優れます。ただし鉱物系の油には強くありません。

フッ素ゴム(FKM)・・・バイトンという商品名のほうがとおりが良いかもしれません。上記2種類のゴムより耐油性、高温特性、耐薬品性、耐オゾン性などに優れており理想的なシール材といえるかもしれません。ただし耐低温特性に難があり、価格も高いのが難点です。

その他に、充填パッキンと呼ばれる凹溝にポリウレタンを充填し、シール材とするような方法もあります。この場合、弾性には優れるのですが、温度特性は若干落ちます。

フェニックス・コンタクト社のコネクタ



フェニックス・コンタクトのコネクタは、産業用として過酷な環境でも使用できるように充電部が外からの水、油、埃などの浸入を受けないように大きさ、構造、取付け面に合わせて適切なシール材を使用し、お客様の大切な機器を守ります。

参考webページ: <http://www.packing.co.jp/>

フェニックス・コンタクト株式会社

横浜市港北区新横浜1-7-9 友泉新横浜1丁目ビル6階
本社・営業部 Tel. (045) 471 0030 Fax. (045) 471 0031
大阪営業所 Tel. (06) 6838 3133 Fax. (06) 6838 3533
名古屋営業所 Tel. (052) 918 7211 Fax. (052) 918 7222
大宮営業所 Tel. (048) 631 3371 Fax. (048) 648 8651
福岡営業所 Tel. (092) 418 2030 Fax. (092) 476 8643

商品のお問い合わせは